

2024 年度 (令和 6 年度) 学校評価自己評価表

芦田	中学校区	校番 41	福山市立	福相小	学校
最終更新日			2024年(令和6年)4月11日		

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100N教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&amp;倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

II 中学校区	
<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりや行事紹介写真資料などを当日配布し、学校の取組や近況を具体的に説明した。</li> <li>校区内の3校を順に会場とし、評価委員全員にそれぞれの学校を見ていただいた。</li> <li>教育関係用語をわかりやすい言葉に置き換えて、説明した。</li> <li>校区内児童生徒が伸びるようそれぞれに工夫をして、教育活動に当たってもらいたい。</li> <li>地域の者も協力していきたい。学校と保護者・地域住民との連携を継続してほしい。</li> </ul>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた状況と温かい雰囲気の中で、生き生きと活動をしている。</li> <li>基礎学力は概ね定着しており、学習に対する意欲は高い。ペア、グループでの活動の充実により、積極的に発表できるようになっている。また、協働的に課題を解決しようとする意欲も出てきている。</li> <li>友だちの意見から自分の考えを深めることには課題がある。</li> <li>9割前後の児童生徒が「友だちのよいところに気付いた。」と肯定的に捉えている。しかし、「自分にはよいところがある。」の肯定的評価の割合は、小中によって異なる。</li> </ul>
<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題解決・意思決定、コミュニケーション、思いやり</p> <p>ふるさと芦田に愛着と誇りをもち、未来を切り拓き、たくましく生きる児童生徒</p> <p>「児童生徒主体の学び」の創造</p> <p>○取組推進のための校区全体研修会による活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい授業づくり(主体的・対話的・深い学び)</li> <li>考え、議論する道徳の授業づくり(理論研修・教材分析・授業研究会)</li> <li>学力・生徒指導・体力向上(調査等の分析・改善策の検討・取組実施)</li> <li>SDGs教育の推進(教育活動への位置付け・教科や学年を超えた枠組の構築)</li> </ul>

III 自校	
<p>ミッション</p> <p>地域に誇りをもち 目標をもって 主体的に活動する子どもの育成</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>課題解決・意思決定</p> <p>コミュニケーション</p> <p>思いやり</p>
<p>学校教育目標</p> <p>「自ら学び 心豊かで 生き生きと活動する子どもの育成」 ～ 自主・協働・創意工夫 ～</p>	<p>めざす子ども像</p> <p>小1・2</p> <p>小3・4</p> <p>小5・6 中1</p> <p>中2・3</p>
<p>現状</p> <p>〈児童生徒〉 まじめに学習に取り組む児童が多く、各種学力調査では学習に対する意識は高く、基礎的な学力は定着しているが、活用できるまでの知識となっていない。児童アンケートから、自分に自信がもてず、結論先行や理由をつけて考えを表現することに苦手意識があるため、学びのよさの実感までには至っていない。また、協働的なかわりが苦手で、困難に直面するとあきらめてしまったりする児童もいる。そこで、ペア学習やグループ学習を取り入れ、振り返りの場を大切にすることで、主体的・対話的で深い学びにつながる授業を目指している。また、自己肯定感を高めるためのふるさと学習等に取り組んでいる。</p> <p>〈授業〉 主体的な学びにつなげるために、SDGsと関連づけた教科横断的なカリキュラムマップ編成と単元開発を行ってきた。また、児童が自ら選んだり決定したりする場、振り返りの場を大切にし、授業改善を進めてきた。授業に進んで参加し、友達の発表をしっかり聞く等、学習に対する意識は高まってきた。今後は、学力の定着に向けて、課題解決型の学習課題の設定、表現活動の充実、振り返りの場を大切にした授業を目指すことで児童が主体的に学ぶ授業改善を図っていく必要がある。</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p> <p>めざす授業の姿</p> <p>主体的に学び 学びのよさを実感する子どもの育成 ～ かかわり合い 学び合い 学びを見つめる 子ども主体の学びづくりを通して～</p> <p>①表現、対話、振り返りの充実を通じた子ども主体の学びづくり ②SDGs(国連持続可能な開発目標)と関連づけた教科横断的なカリキュラムマップ編成と単元開発</p> <p>①児童の疑問、興味関心から解決したい思い(学習課題)を大切にした授業 ②児童が表現する場、協働して考える場を大切にした授業(ペア、グループ活動) ③児童が見方・考え方を深める問い(発問)やしかけがある授業 ④児童が学びを自己認識したり、学びのよさを実感したりする、振り返りの場がある授業 ⑤児童が自ら選んだり決定したり、児童に任せる場を大切にした授業</p>